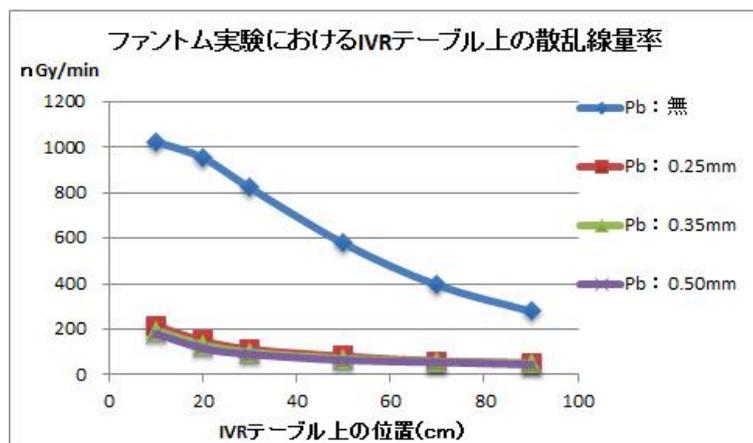


散乱線防護 IVR テーブル (SPRIT) の開発およびその散乱線防護効果

【目的】今日までに多くの防護具の検討が行われているが、IVRにおいて手技に影響を及ぼさず被曝低減が可能で効率的な手指用防護具は開発されていない。我々は術者手指被曝に防護効果があり、IVRの利便性に優れた散乱線防護 IVR テーブル (SPRIT) を開発し術者手指被曝低減効果を検討した。【方法】カーボン板に脚を付けて患者鼠径部から足側を覆う IVR テーブルを作製し、このテーブル上に防護衣 (0.25, 0.35, 0.50mmPb 当量) を被せてファントムを透視し、テーブル上の散乱線量および術者位置の頸部、胸部、腹部位置の散乱線量を電離箱線量計で計測し、防護効果を検討した。この結果より IVR テーブル裏面に鉛 0.3mm を貼付けた SPRIT (3.8kg) を作製した。この防護効果については、当日発表する。【結果】テーブル上の散乱線は、防護衣を被せることで、約 80~85% 減少したが、鉛当量の変化では大差なく 0.25 mmPb 程度で充分である。術者位置の上半身の散乱線は、40% 程度減少する。【結論】SPRIT は、術者の手指および上半身の被曝の大幅な減少が可能となる。



評価1	評価2	評価3	採否
発表日時 月 日 (第 日)	セッション	会場	時 分~ 時 分

受付番号

演題番号